

会津高原

木賊の くつつろぎ方

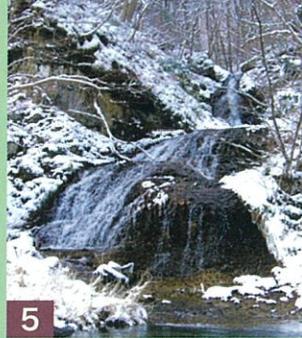
溪流と秘湯の里

冬 秋 夏 春

まぶしい新緑と
桜桃の彩りが映え
清流の飛沫が
涼をつれてくる
色とりどりの紅葉と
里の味覚
湯けむりが肌も体も
あたたかくしてくれる

木賊温泉岩風呂

写真は温泉エッセイスト 山崎まゆみさん
HP <http://ingsnet.com/mayumi/>



西根川の 溪流と

西根川は、帝釈山～田代山を結ぶ尾根の北斜面が源流域（南斜面は関東・鬼怒川水系）です。尾根（標高約2000m）から館岩川の出合い（標高約600m）まで延長約18km（管理延長11.4km）・標高差1400m。

西根川の沢鳴りのなかから、都会の雑踏を離れて雑念を離れて、安らぎ三昧へといざなう、滝をご案内します。沢音のシャワー浴をお楽しみください。

だらめきの滝…⑩

大沢の滝……………⑤

歓満の滝……………⑨

木賊の渡戸橋付近
共同浴場・広瀬の湯付近にあって、厳寒期には、圧倒されるような氷の彫刻が出現します。

小高林～上ノ原間

新屋敷～木賊間

昭和の初期に分校の先生だった中丸平馬氏が世界平和を願い歓満の滝と命名しました。



3 西根大橋

2 助木生橋

1 すけぎゅう 助木生

ばやし 高林

りんご 桃・梨園

栃のはち蜜



西根川水系では4月から9月までいわな釣りを楽しめます。1日釣券：1,000円（近くの旅館・民宿で購入できます）館岩川
★溪流釣り大会：7月第1日曜

石抱きの栃の木…②
石を抱いた栃の木は、春には見事な花を咲かせます。蜜蜂が行なわれている助木生地区では栃のはち蜜も販売されています。

崩れ権現…③
かつて巨石の陰影が神様に見えたところからこの名がつけました。

小高林～上ノ原のそば畑…④
町道宮里線沿いにそば畑が続きます。3月下旬から9月上旬が見頃です。



至田島
▼たかつえスキー場
木賊温泉～18km
▼会津高原尾瀬口駅・会津鬼怒川線
木賊温泉～31km
▼東北道・西那須野塩原IC
木賊温泉～85km



山開きの頃の
タムシバ
(別名ニオイコブ
シ)が見事です。

ながおろし山、標高 1068 m。
西根川流域すなわち宮里の嵐神社を祀っています。
祭りの旧暦 3 月 4 日は、200 年前の山崩れ記念日。
転げ落ちてきた大石のあった場所を、
「天災をわすれまい!」と集会所にしています。
熊野神社～登り約 1 時間～長卸山頂・嵐神社～
下り約 30 分～広瀬の湯…と、気軽なハイキングが楽しめる、
山頂からは会津駒ヶ岳など南会津連山が一望できます。
山開き：5 月中旬

権現様 木賊熊野神社

縁結びの神様です

このお社は、
本殿と拜殿が結ばれ、
権現造りと称しています。
ここ宮里では、
福道原の熊野宮を「親権現」や
「親神さま」と称しています。
この権現様の縁起等は、
木賊物語の項をごらんください。



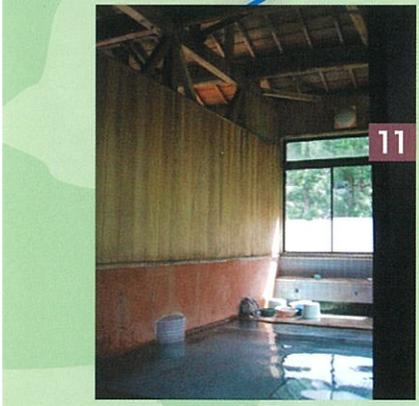
安らぎの 滝三昧



古来、山や森や川など
森羅万象に魂が宿ると
信じられてきました。
そして、
仏様も、この世を楽する
日本独特の神様の仲間であると
信じられるようになりました。
神は仏の権現(明神)、
すなわち、
権…仮りの意、
現…姿を現わすの意です。



温泉神社
岩風呂付近の大杉の根元に
鎮座する湯前さま。
男子が生まれると
お祝いに矢を奉納する
安産祈願の神社でもあります。



共同浴場 広瀬の湯

木賊集落で管理する
男女別の日帰り温泉・
旧下の湯。
だらめきの滝近くにあり、
単純泉で
さっぱりしていて、
疲労回復に効きます。
入浴料は大人 300 円、
子ども 200 円。
15:00～19:00 まで。



あれが帝釈山!
西根川流域からは、
近すぎて帝釈山の
山頂が見えません。
わずかに、熊野神社入口付近で
勇姿を仰ぎ見ることが
できます。



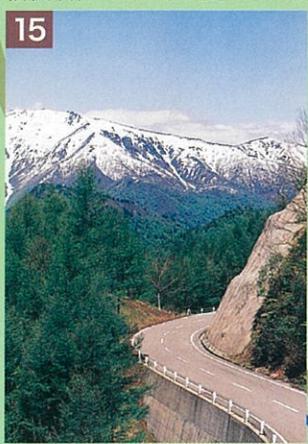
ほのぼの たりの 空間

嵐祭りを傳承する 長卸山

ながおろしやま



林道・尾瀬小繋ライン
春の残雪、秋の紅葉が見事！
檜枝岐村 14km。尾瀬 50km。



15 至 檜枝岐村 尾瀬

18 帝釈山と田代山

尾瀬 国立公園

山上湿原の秘境／田代山・標高 1971 m (写真)
帝釈山脈の主峰／帝釈山・標高 2060 m
木賊～約 4.5km～川衣ゲート (通行止)～約 2.6km～
登山口～約 2km (90 分)～田代山 (片道約 4 時間)～
尾根道約 80 分～帝釈山。

★現在、木賊登山口からの登山は悪路でおすすめできません。
湯ノ花温泉経由で、猿倉登山口から登下山してください。
★山開き：6 月第 2 日曜



17 川衣水芭蕉群生地

一面に水芭蕉の咲く
湿地が広がっています。
地元の人々が毎年手入れをして
美しい花を咲かせてくれます。
★見頃：5 月初旬



16 空窪の滝

帝釈山の麓からブナの大木が伐りだされ、
昭和 30 年代 (1955～1964) 頃まで、
滝の上にはトロッコ橋が架けられていました。



14 さいたま市立館岩少年自然の家
さいたま市の小中学生が年間を通して
「自然の教室」に訪れます。

西根川の川床にあって、
50 度ほどの温泉が湧き出しています。
岩を掘って湯槽とした野趣あふれる
源泉 100% の足元湧出温泉です。
西根川の四季を満喫でき、
溪流での冷水浴も楽しめます。
夏場に耳を澄ますと
河鹿の鳴き声が聞こえます。
単純硫黄泉で神経痛、リウマチに効きま
す。

木賊温泉 岩風呂



12 川床からこんこんと
湯が湧き出しています。

入浴料 200 円。混浴で
24 時間入浴できます。

女性も入浴できる「湯あみ着」を近くの商店・宿屋で貸出しています。200 円



昔がたりの宮里

家康の東照宮造営も
検討されたという
総鎮守の里

平安時代後期の源義家奥州遠征伝説に抱かれた熊野神社建立の時代から、すでに木賊の集落があったと社伝にあり、西根川流域は宮里（現在の大字名）と呼ばれています。

二荒山（日光の語源 神が宿る山）を特定できなかったとされる東照宮候補地探し伝説もあります。天下人の古墳の分布をみると、都の周縁の尾根裏に秘めやかに造営されるのが習わしのです。

武士の隠れ湯だったのでしょうか。川床に湧き出ている湯泉も、その当時から今日まで大切に受け継がれています。



宮里の総鎮守・熊野神社。社宝の桔梗紋と八葉鏡は高倉宮の奉納と伝えられます。



赤ぶか

源平合戦の逃避行伝説に染まる
館岩特産の珍重な郷土産品
館岩の赤かぶは長首で赤紫色。他の地域で栽培しても赤くならないとされています。
打倒平氏の決起に失敗し都落ちした高倉宮（平安時代末期の後白河天皇のち法皇の皇子）の逃避行伝説は、尾瀬を経由して南会津に潜行し、この地にも滞在。手厚くもてなした村人への謝礼として種子を置いていったのが始まりと、西根川上流の川衣地区に伝えられています。

事始め

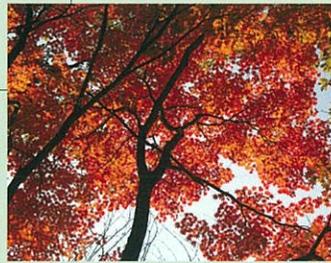
を置いていったのが始まりと、西根川上流の川衣地区に伝えられています。

能楽や狂言で有名な
「木賊刈り」の詩

トクサは常緑のシダ植物で、ガラス質を含んでおり、表面は堅くざらざらしています。この地に群生地が多かったことから、「木賊」の名がつけられたといわれます。木賊の字は漢名（中国）で、和名（日本）は砥草。昔は干してから束ねて砥石（といし）やサンドペーパーのように使われ、農具や生活用品、木工品を磨き、万能薬として薬用にも売られました。

現在は、黒石地区に群生を見ることが出来ます。

地名の由来



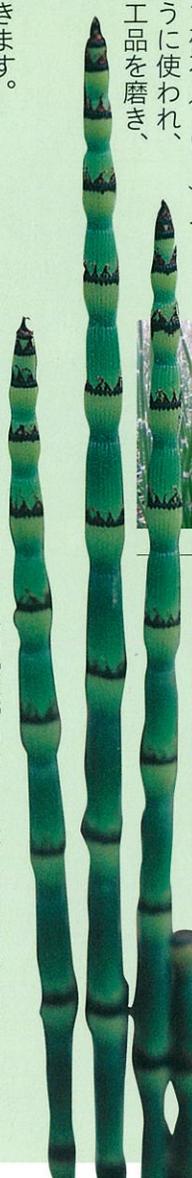
紅葉の道

町道宮里線沿いは、ナラ、カエデ、ブナなどが山すそまで彩り、錦秋を迎えます。町道宮里線から檜枝岐村へ抜ける尾瀬小繋ラインは紅葉狩りにおすすめのルートです。

深山の山菜やキノコと。溪流のイワナやヤマメと。涼風の精・裁ちそばと。

赤かぶと裁ちそばは特産品。昼夜の温度差が大きい西根川渓谷では、おいしいそば粉が採れます。初秋の真白なそばの花もみごとです。

木と見作物の五口



謡曲「木賊」物語は濃濃路。ある日、木賊を刈っていた老人に旅の僧が語りかけます。老人は少年僧を伴った旅の僧を自宅に泊めて歓待。酒を酌み交わしながら、行方知れずの子を思つて狂乱の月日を送ってきたことを語り起し、愛し子の形見の衣装をまとい真似て舞い出します。これを見た少年僧は、「探しあぐねた父親だ！」と気づいて父子の再会を果たします。室町時代の能役者・能作者で、芸名・世阿弥伝仏すなわと世阿弥（略称）の作と伝えられます。

とくき 木賊のくつろぎ方



燧ヶ岳
2356m
東北最高峰

会津駒ヶ岳
2133m

会津駒ヶ岳連山の麓にある木賊温泉（たかつえスキー場から望む）

木賊温泉は、今から1,000年前の平安時代の頃に発見されたと伝えられています。

四季を彩る表情豊かな風景に抱かれて、川床の岩風呂につかりながら、自然を存分に楽しんで、あたたかい人情といっしょに、木賊をこころゆくまでおくつろぎください。

木賊温泉宿ガイド

電話市外局番 (0241)

①	旅館	しゃくなげ荘	78-2435
②	旅館	井筒屋	78-2452
③	民宿	宮ノ本	78-2441
④	民宿	みやさと荘	78-2464
⑤	民宿 食事処	福本屋	78-2440
⑥	民宿	若松屋	78-2434
⑦	酒店	橘商店	78-2432
⑧	物産 販売	平野物産店	78-2532



木賊温泉

- 東北自動車道・西那須野塩原 IC → R400 号線
尾頭トンネル経由 → R121 号 → R352 号
(西那須野塩原 IC から約 85km)
- 会津鬼怒川線・会津高原尾瀬口駅下車
(東武浅草駅から直通快速で約 3 時間)
→会津高原尾瀬口駅から尾瀬・檜枝岐方面行きバス松戸原
下車タクシー乗換約 10 分



ご案内・宿泊予約先

福島県南会津町観光協会館岩観光センター

お問い合わせ先

福島県南会津町館岩総合支所振興課

〒967-0304 南会津郡南会津町松戸原 156 番地
TEL 0241-64-5611 FAX 0241-78-3155
URL <http://www.kanko-aizu.com>

〒967-0304 南会津郡南会津町松戸原 50 番地
TEL 0241-78-3330 FAX 0241-78-3008
URL <http://www.minamiaizu.org>